阿蘇 2016 年 10 月 7, 8 日噴火の噴出物，その 3（10 月 8, 9, 10, 11 日計測）

長谷中利昭・理学部

基盤実験阿蘇 TA　川口允孝，椎原航介・大学院自然科学研究科

理学部地学実験 C 受講生，山下，原田，谷崎，吉田，治田，平野，岡田，TA 川口

噴火後 4 日間に採集した火山灰試料の重量を報告する．なお引用にあたっては「熊本大学・減災センター（減災型社会システム実践研究教育センター）」を明記されたい．写真でもわかる通り，10/8 夜の豪雨で細粒物が洗い流されたこと，あるいは流されて集積した可能性が考えられるもの，屋根や庇があり，全量が堆積していない可能性が考えられるものもある．青少年交流の家で採集した火山灰のデータはばらつきが大きく，これらの原因も考えられる．しかし交流の家の西 300m の道路上での火山礫の密度は，計測はしていないが，交流の家の敷地内と比べると，見た目で低く，狭い範囲で火山灰の密度に大きなばらつきがあった可能性が大きい．

	月日	場所	緯度	経度	重量 g	袋 g	NET重量	辺1	辺2	面積	倍数	定面積重量
		青＝阿蘇青少年交流の家			(g)	(g)	(g)	(cm)	(cm)	(cm2)		(g/m2)
1	10月8日	モーモーファーム竹原 泥［乾燥］	32° 55' 45.984″N	131° 5' 53.754″ E	174	18	156	25	40	1000	10.0	1560
2	10月8日	青南東，ベランダ	32° 55' 5.58″ N	131° 6' 33.336″ E	146	18	128	11.5	168	1932	5.2	663
3	10月9日	青南東，食堂前1(田島氏データ)	32° 55' 4.518″ N	131° 6' 33.624″ E	481	18	463	43	30	1290	7.8	3585
4	10月9日	青南東，食堂前2	32° 55' 4.518″ N	131° 6' 33.624″ E	141	4	137	43	20	860	11.6	1593
5	10月11日	青北西，グラウンド横	32° 55' 8.268″ N	131° 6' 30.95″ E	280	18	262	50	50	2500	4.0	1048
6	10月11日	青北東，グラウンド朝礼台	32° 55' 9.522″ N	131° 6' 35.12″ E	72	4	68	50	50	2500	4.0	272
7	10月11日	青西，駐車場	32° 55' 8.358″ N	131° 6' 32.06″ E	348	18	330	50	50	2500	4.0	1320
8	10月10日	阿蘇神社境内前1	32° 56' 52.422″ N	131° 6' 58.13″ E	61	18	43	30	30	900	11.1	478
9	10月10日	阿蘇神社境内前2	32° 56' 51.192″ N	131° 6' 59.15″ E	26	18	8	30	30	900	11.1	89
10	10月10日	波野村，神楽苑舞台デッキ	32° 57' 38.028″ N	131° 11' 55.158″ E	37	4	33	50	50	2500	4.0	132

(1) モーモーファーム竹原入口（ビニール袋の長辺＝40cm，[泥]の回収率は 90%程度である．）

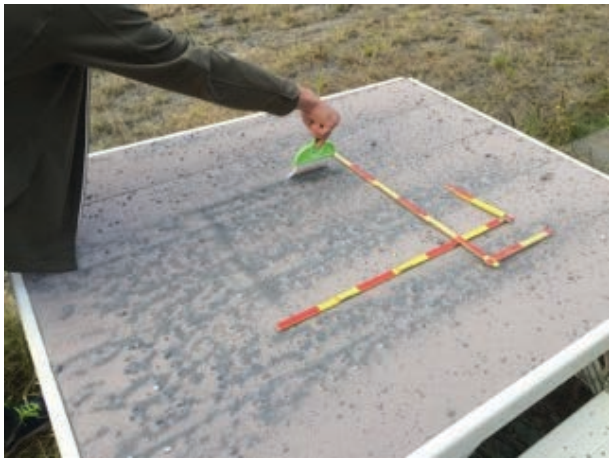
(2) 阿蘇青少年交流の家，南東ベランダ

(3) 阿蘇青少年交流の家，南東 食堂きらら入口

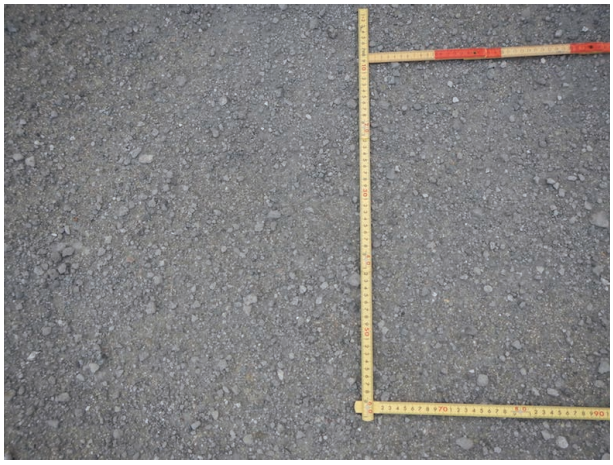
(4) 阿蘇青少年交流の家，南東 食堂きらら入口 （3 の左隣，採集跡，さらに左は西日本技術開発，稲倉寛仁氏採集跡）

(5) 阿蘇青少年交流の家 北西，グラウンド横

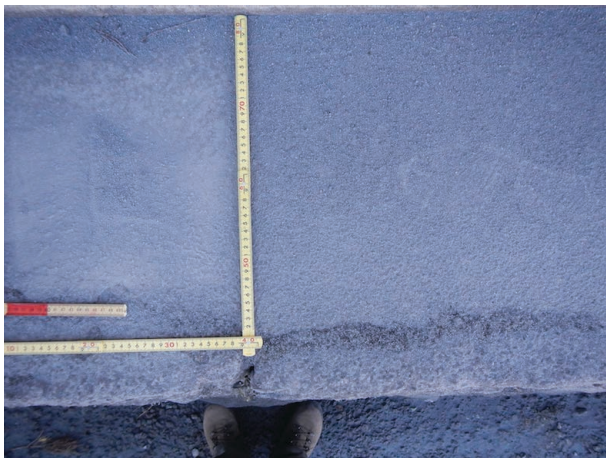
(6) 阿蘇青少年交流の家，北東，グラウンド朝礼台（雨によって細粒火山灰が流されている）



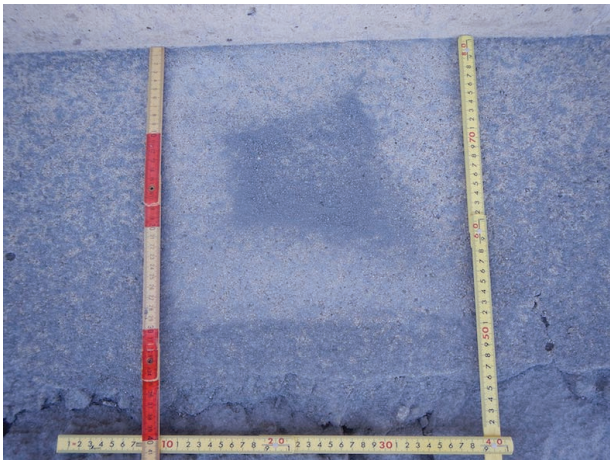
(7) 阿蘇青少年交流の家，西，駐車場



(8) 阿蘇神社 境内前



(9) 阿蘇神社 境内前 （8 の右側＝北側，約 20m）火山灰がまだらで流された可能性がある.



(10) 波野村，道の駅「神楽苑」舞台デッキ